

---

# 2023年3月期 第3四半期決算説明会

---

2023年2月3日

 三越伊勢丹ホールディングス



**: 2023年3月期 第3四半期実績**

**: 2023年3月期 通期計画**



**： 2023年3月期 第3四半期実績**

**： 2023年3月期 通期計画**



第3Q(10月~12月)

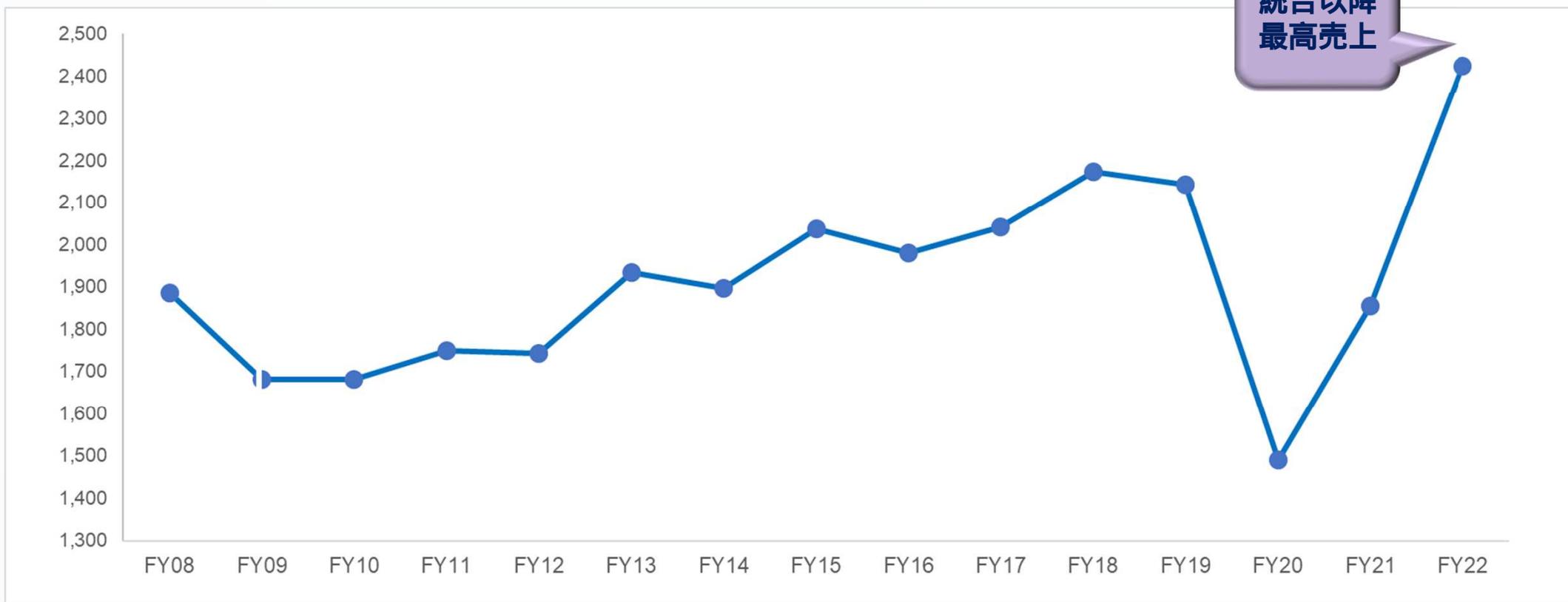
- ・ 総額売上高は上期の好調なトレンド継続に加え、10月以降の水際対策緩和で免税売上増。
- ・ 営業利益は損益分岐点売上の引き下げにより、18年度146億円を超える156億円を計上。
- ・ 経常利益、四半期純利益は第1Q、第2Qに続き前年を超える黒字を確保。

(億円)	上期累計 (4-9月)	前年差	第3Q (10-12月)	前年差	第3Q累計 (4-12月)	前年差
総額売上高	4,956	+966	3,239	+414	8,196	+1,381
売上高	2,228	+349	1,443	+176	3,671	+525
売上総利益	1,319	+239	839	+96	2,159	+335
販売管理費	1,230	+72	683	+47	1,913	+120
営業利益	89	+166	156	+48	245	+215
経常利益	95	+166	160	+50	256	+217
四半期純利益	77	+159	117	+27	195	+186



- ・伊勢丹新宿本店の第3Q累計売上高は、第1Q、第2Qに続き統合以降で最高売上。
- ・今後も高感度上質戦略、CRM戦略を引き続き推進し、売上高の拡大を図る。

## 伊勢丹新宿本店 第3Q累計売上高 年度別推移 2008年～2022年





- ・ 構造改革による経費削減は、11月公表の年間計画 57億円に対して 49億円まで進捗。
- ・ 今後も引き続き機動的な経費コントロールを継続。

(億円)	第3Q累計 4-12月	前年増減	前年増減の内訳					
			前年戻り	当年増減				
			緊急対策 コロナ特損	収支 構造改革	売上連動	営業強化 施策	新規連結	その他
人件費	687	+23	+23	29			+25	+4
宣伝費	62	+4		1		+4	+1	
地代家賃	242	+19	+7	2	+6		+11	2
外部委託費	214	+4	+3	8		+6	+4	
減価償却費	175	+5	+6				+2	2
その他	531	+64	+3	8	+31		+21	+17
<b>合計</b>	<b>1,913</b>	<b>+120</b>	<b>+41</b>	<b>49</b>	<b>+36</b>	<b>+10</b>	<b>+65</b>	<b>+17</b>



- ・百貨店業 : コロナ制限のない外出機会拡大等で消費意欲増。利益+237億円大幅改善。
- ・クレジット・金融業 : グループ内処理変更に伴う減益あるも、売上高は引き続き堅調に推移。
- ・不動産業 : 建装事業強化により総額売上高は拡大。

（億円）	総額売上高	前年比	売上高	営業利益	前年差
百貨店業	7,613	118.4%	3,158	175	+237
クレジット・ 金融・友の会業	254	100.5%	229	31	16
不動産業	142	108.6%	142	29	11
その他	186	—	140	8	+5
合計	8,196	120.3%	3,671	245	+215

その他には調整額を含む

： 2023年3月期 第3四半期実績

： 2023年3月期 通期計画



- 総額売上高は百貨店業の堅調なトレンドを踏まえ、11月計画値から上方修正。
- インバウンドは第3四半期時に入国制限緩和が行われたものの、依然として不透明な状況を考慮。
- 物価上昇による経費増や為替影響は一定程度考慮。
- 経費コントロールは引き続き柔軟かつ機動的に対応。



- ・総額売上高は第3Qの百貨店業の好調を踏まえ、11月計画差+50億円。
- ・販管費は収支構造改革に加え、細かな経費見直しを積み上げ11月計画差 20億円。
- ・以上の結果、営業利益、経常利益、当期純利益ともに11月計画から上方修正。

（億円）	第3Q累計 （4-12月）	前年差	第4Q （1-3月）	前年差	通期	前年差	11月 計画差
総額売上高	8,196	+1,381	2,603	+297	10,800	+1,678	+50
売上高	3,671	+525	1,228	+191	4,900	+716	40
売上総利益	2,159	+335	710	+97	2,870	+433	
販売管理費	1,913	+120	696	+112	2,610	+232	20
営業利益	245	+215	14	14	260	+200	+20
経常利益	256	+217	3	52	260	+164	+20
当期純利益	195	+186	59	54	255	+131	+15



**三越伊勢丹：第3Qに11月計画を上回った実績を踏まえ、下期計画を上方修正。**  
**地域事業会社：拠点により強弱はあるが、地域から三越伊勢丹への送客売上の進捗や足元のトレンドを踏まえ、11月計画より下方修正。**

	前回（11/11時点）			今回（2/3時点）		
	上期実績	下期計画	通期	上期実績	下期計画	通期
三越伊勢丹計	98%	98%	98%	98%	104%	101%
（うち）免税除く 売上高	106%	105%	105%	106%	109%	107%
地域事業会社計	90%	98%	94%	90%	93%	92%
国内百貨店計	95%	98%	97%	95%	99%	98%

三越伊勢丹：伊勢丹相模原店・伊勢丹府中店・恵比寿三越は除く、地域：岩田屋久留米店・松山三越・新潟三越は除く



- ・ 構造改革による経費削減をさらに進め、11月計画値 57億円を 5億円増額し 62億円。
- ・ 一方で、物価上昇関連の不透明な状況にも対応。
- ・ 第4Qも引き続き機動的な経費コントロールを継続。

(億円)	22年度 計画	前年増減	前年増減の内訳						
			前年戻り	当年増減					
			緊急対策 コロナ特損	収支 構造改革	売上連動	営業強化 施策	新規連結	その他	
人件費	930	+64	+61	33				+38	
宣伝費	90	+6		3			+7	+2	
地代家賃	327	+25	+7	2	+6			+17	2
外部委託費	290	+5	+3	13			+10	+6	
減価償却費	237	+6	+6					+3	2
その他	736	+123	+3	11	+54	+8		+31	+38
合計	2,610	+232	+79	62	+60	+25		+97	+34



- ・百貨店業は、第3Qまでの実績を踏まえ売上高を引き上げる一方、経費構造改革の一層の進捗により、営業利益は計画値+20億円。
- ・クレジット・金融業、不動産業については、11月計画通りを見込む。

（億円）	総額売上高	前年比	売上高	営業利益	前年差	11月計画差
百貨店業	9,900	114.9%	4,100	153	+216	+20
クレジット・ 金融・友の会業	340	103.2%	310	50	10	—
不動産業	260	143.9%	260	48	7	—
その他	300	( 6 )	230	9	+2	—
合計	10,800	118.4%	4,900	260	+200	+20

その他には調整額を含む